

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	08214-1	狹隘道路後退用地整備事業(建築指導費)	室名	建築開発室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	06:住環境の向上	務	款 土木費
施策体系	施策の方向	02:安全・快適な住環境の整備	科	項 都市計画費
	戦略プロジェクト		目	目 都市計画総務費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	建築基準法の規定に基づく道路の確認・狭あい道路の特定のため、指定道路図を整備し公開することにより、建築時に狹隘道路等を解消し、良好な住環境の整備を行う。
概要	指定道路図は、亀山市の都市計画区域内の道路のうち、建物を建てることのできる建築基準法上の道路が記載されており、建築確認申請を審査するときに必要不可欠なものとなっている。これらの道路は、毎年道路整備等で拡幅等が行われているため、指定道路図を定期的に更新を行うものである。	

			27年度	28年度
①	名称	指定道路図データ更新及び背景作成業務委託	計画値	
	補足	指定道路図(H27年度分)の整備	実績値	4
			単位	箇年分
②	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
				指定道路図の整備及び公開を行った。(H27年度分)				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,465	
		事業費		1,114	972	一般職員人件費 ②	1,465	平均給与額×③
		国庫支出金		557	446	所要人員 ③	0.20	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		557	526			
		再	翌年度への繰越額					
		掲	前年度からの繰越額					
			総人件費		①	1,465		
	総コスト		⑥	2,437				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	指定道路図が整備され、設計業者等及び市民への確かな情報を提供できた。また、ホームページにおいて、市民への公開を随時行う予定である。	総合判定	A
	【反省点・課題】	課題としては、道路の状況が毎年変化し、ホームページにおいて現状にあわせた道路情報の公開を行うため、随時見直しが必要である。		順調に進んだ
	【改善の方向性】	随時、見直しが必要なため、毎年、整備を行う必要がある。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 建築開発室長 亀淵 輝男	